

NPO 法人 日本ウミガメ協議会
Sea Turtle Association of Japan



2017年10月~2018年9月

1. 日本におけるウミガメ関連情報のとりまとめ

1-1 2018 年シーズン（2017 年 10 月～2018 年 9 月）の日本の産卵情報の収集

全国の機関・個人より、ウミガメ類の上陸・産卵情報をいただいた。アカウミガメは 3703 回の上陸、1986 回の産卵が確認された。また、アオウミガメは 1410 回の上陸、830 回の産卵が、タイマイは 14 回の上陸、8 回の産卵が確認された。また、種の特定できなかった上陸回数は 69 回、産卵回数は 14 回であった。

1-2 2018 年シーズンの漂着死体情報の収集

期間中、ウミガメ協議会事務局に通報を受けた漂着死体は 463 件であった。内訳はアカウミガメ 198 個体、アオウミガメ 222 個体、タイマイ 9 個体、ヒメウミガメ 3 個体、オサガメ 2 個体、クロウミガメ 1 個体、交雑種 4 個体、種不明 24 個体であった。

1-3 2018 年シーズンの標識調査

2017 年 10 月～2018 年 9 月の間に、14 の個人・団体・機関に 4308 個の標識を配布した。

1-4 第 28 回日本ウミガメ会議（神戸大会）の開催

2018 年 2 月 18 日から 23 日まで開催された第 38 回国際ウミガメシンポジウムに合わせて、標記会議を合同開催した。2 月 19 日に、全国のとりまとめのみを日本ウミガメ会議として行い、参加者は約 200 人であった。その他の口頭発表、ポスター発表は、国際ウミガメシンポジウムの中で実施された。なお、発表の英語化にあたり、必要に応じてコミュニケーションサポート委員会の支援を受けた。



1-5 第 29 回日本ウミガメ会議（与論島大会）の準備

2017 年 11 月より与論島役場や地元関係者との協議・調整を重ねたうえで、2018 年 7 月に与論島役場を事務局とした「第 29 回日本ウミガメ会議室与論島大会実行委員会」を設置し、定期的に行なわれる実行委員会を開催しながら、会議の内容について協議した。

1-6 平成 29・30 年度 徳島県 自然環境協力員育成（委託）

本事業は、徳島県内のアカウミガメ上陸・産卵調査等に関わる人材育成事業で、平成 16 年以降継続受託している。県内で募集した協力調査員（約 15 名）を対象に産卵シーズンに先立ち調査手法や関連情報に関する講習会を実施したうえで、個別の砂浜の調査結果に関して逐次報告を受け、それをとりまとめ、産卵シーズン後にフィードバックする報告会を実施している。本事業年度には、2017 年 12 月 2 日に報告会を美波町日和佐公民館、2018 年 6 月 2 日に講習会を徳島市のエコみらいとくしまで実施した。

1-7 環境省モニタリングサイト 1000 ウミガメ調査（委託）

本事業は、国内の様々な生態系に忍び寄り変化をいち早く察知するべく、環境省が多くの調査主体の協力により実施している包括的生態系モニタリング事業で、当会はこのうちウミガメの上陸産卵モニタリングと関連情報の調査とりまとめ等を 2004 年から担当している。2016 年度の事業で見直した公募制を柱とする新体制を、1 年間の休みを経て、2018 年度から再開することになった。

2 国際的な活動

2-1 第 38 回国際ウミガメシンポジウムの開催

2018 年 2 月 18 日から 23 日まで、「ウミガメ保護のその先に」をメインテーマに、神戸市にて開催された標記会議にあたり、共催の神戸市立須磨海浜水族園とともに、国内組織委員会の組織し、資金獲得・会場準備・プログラム編成・日本人参加受付など実質的な運営を担当した。また、シンポジウム後のエクスカージョンとして、日和佐訪問ツアーを開催し、外国人関係者に、日本の歴史的な活動やウミガメとのかかわりについて広く啓発した。



2-2 在日米軍基地における産卵調査およびアセスメント（委託）

在日米軍からの委託事業として、沖縄県読谷村の施設内でウミガメの保護事業を実施した。本事業は2008年からの継続である。2018年は4月から8月まで週5日間の頻度で砂浜を踏査し、卵の探索と移植、脱出とふ化率ならびに砂中温度などの周辺環境の調査を実施した。中西・亀田が毎回交替で現地に入り、琉球大学ちゅうらがーミーを有償アシスタントとした。

2-3 日米墨 3 か国北太平洋アカウミガメ回復計画（委託）

米国政府が国内法である絶滅種保護法に基づきアカウミガメ北太平洋個体群の回復計画の見直しをするにあたり、繁殖地である我が国と成長海域にあたるメキシコ両政府当局へ3か国共同での回復計画作成を打診したことを受けて、回復計画素案の作成チームに松沢が入り、日本における保全制度、保全調査研究、個体群への脅威等に関する情報整理・評価・執筆を担当している（環境省委託事業）。本事業年度では2018年1月17日-19日に米国カリフォルニア州ラホヤ市での会合で骨子を固め、その後、年度内の完成を目指して詰めの協議を行っている。

3 個別プロジェクト

3-1 みなべ町千里浜のウミガメ保護調査（補助）

2018年6月8日から9月2日まで、みなべ町教育委員会の支援を受けて千里観音境内に開設する調査基地に常駐し、みなべウミガメ研究班および青年クラブみなべと協働で、千里浜における夜間パトロール調査を実施し、産卵メスの個体識別および産卵巣へ食害対策用の竹網・金籠の設置を行い、随時、孵化率調査を実施した。また、この期間を通じて、周辺の砂浜（岩代浜、小目津浜、南部浜）での痕跡調査を昼間に実施した。なお、食害対策および孵化調査については、株式会社ライオン大阪工場のボランティアの皆様の協力を得た。調査期間中には、帝京科学大学、岡山理科大学、大阪 ECO 海洋動物専門学校、臨海実習を受け入れ、みなべ町教育委員会の観察許可を得た 1000 名以上の観察者の誘導・観察指導を行った。



3-2 紀宝町道の駅ウミガメ公園・ウミガメふれあいパークの生物飼育管理等（委託）

2007年より、紀宝町道の駅ウミガメ公園における「ウミガメふれあいパーク」の管理・生物展示、普及啓発活動、営業活動支援を実施している。本事業年度は、改善された循環ろ過設備設のもと水質管理の適正化をはかるとともに、近隣の定置網で混獲されるウミガメの収容・リハビリ・放流プログラムを展開した。

3-3 鹿児島県野間池におけるウミガメ類混獲調査

鹿児島県南さつま市野間池に設置されているしろせ定置網の所有者宮内叶氏（当会前理事）の協力の下、操業時に混獲が確認されたウミガメについて、種同定、甲長甲幅等の体サイズ計測を行なった後、左右前肢に標識を装着して放流した。2017年10月から2018年9月までの1年間に、106個体（アカウミガメ27個体、アオウミガメ73個体、タイマイ1個体、種不明5個体）が調査対象となった。

3-4 ウミガメの混獲死低減のための技術開発プロジェクト（委託）

本プロジェクトは須磨海浜水族園、在メキシコ NGO grupotortuguero、漁業者、他機関の研究者との協働で行われて来たものを発展的に継続しているもので、2013年度からは水産庁の委託事業として、産官学民のコンソーシアムの一翼を担っている。5か年事業最終年度にあたる本事業年度には、2017年10月21-23日にかけて神戸市立須磨海浜水族園本館の大水槽にて、既に現場での実証試験を経たタイプの確認を行った。さらに、2018年2月19日、国際ウミガメシンポジウムのウェルカム・ソーシャルの際に神戸市立須磨海浜水族園の大水槽で脱出装置のデモンストレーションを行った。



3-5 アースウォッチ・ジャパン種子島のアカウミガメ調査（助成）

本プロジェクトは、アカウミガメの産卵地として屋久島に次ぐ規模の産卵を誇る種子島において、はじめて組織的な夜間砂浜踏査に基づく産卵メスの個体識別調査と子ガメの調査を実施するものである。主な目的は、屋久島や宮崎、みなべなど主要産卵地における回帰率の低さが種子島への産卵地の変更では説明できないことを確認し、間接的に、産卵後のメスの死亡率の高さを示すことにある。と、背甲鱗板配列奇形の出現頻度に関する基礎データを収集するこ

とにある。実施にあたり、地元タートルクルーと連携し、三菱重工グループの支援およびアースウォッチのボランティア 71 名の協力を受けた。本事業年度は、産卵期に 2 泊 3 日の調査を 4 回、孵化脱出期に 2 泊 3 日の調査を 2 回、それぞれ実施した。

3-6 アースウォッチ・ジャパン紀州みなべのアカウミガメ調査（助成）

本プロジェクトは、アカウミガメの産卵地として本州最大を誇る和歌山県みなべ町において、千里浜に加えて、周辺の砂浜でも組織的な夜間砂浜踏査に基づく産卵メスの個体識別調査を実施するもので、これにより同一個体が町内の複数の砂浜を一体的に利用していることを示し、シーズン内の 1 個体あたりの産卵回数など基礎的な産卵生態を明らかにすることを目的とする。実施にあたり、地元みなべウミガメ研究班と連携し、日本郵船グループの支援およびアースウォッチのボランティア 25 名の参加協力を受けた。昨年度に引き続き、産卵期に 2 泊 3 日の調査を 2 回実施した。

4 情報発信・教育啓発

（※付属施設の活動については、「5」に記載）

4-1 講演活動

2017.11.03. 於：淡路島大磯海岸ウミガメ産卵記念講演@アート山大石可久美術館
 2017.11.11. 於：三菱重工グループ 理科教室@みなとみらい科学館
 2017.11.25. 於：紀伊半島ウミガメ情報交換会@みなべ町第二庁舎
 2018.01.14. 於：みなべ町ウミガメ意見交換会@みなべ町第二庁舎
 2018.03.30. 於：和歌山市磯の浦観光協会 勉強会
 2018.06.21. 於：和歌山市磯の浦観光協会 勉強会
 2018.07.07. 於：環境省近畿地方環境事務所 よしくまアドベンチャーin ウミガメ調査隊になろう
 2018.07.10. 於：みなべ町観光ガイドセミナー
 2018.07.13. 於：環境省近畿地方環境事務所 よしくまアドベンチャーin 産卵パトロールをしよう
 2018.07.16. 於：環境省近畿地方環境事務所 よしくまアドベンチャーin 調査結果をまとめよう
 2018.08.06. 於：枚方市小倉小学校 枚方市留守家庭児童室市民参画事業
 2018.08.07. 於：枚方市第二小学校 枚方市留守家庭児童室市民参画事業

4-2 学会・論文等発表

Matsuzawa, Y. 2017. 38th Annual Symposium on Sea Turtle Biology & Conservation - “Beyond Protection of the Sea Turtle,” 18-23 February 2018 in Kobe, Hyogo, Japan. *Marine Turtle Newsletter* 154:22-23.
 Matsuzawa, Y. 2018 Sea Turtle Conservation in the Land of Urashima Tarō. SWOT REPORT Vol13:24-31.

4-3 普及啓発

徳島県アカウミガメ上陸産卵調査報告会を開催 2017/12/2 徳島
 徳島県アカウミガメ上陸産卵調査講習会を開催 2018/06/02 徳島
 大阪府枚方市「ひらかた祭り」にブース出展 2018/08/25-26 枚方

4-4 その他

(1) 広報・メディア協力等（抜粋）

2018/01/06 朝日新聞-屋久島のウミガメ産卵地ピンチ 守り手のNPO解散へ
 2018/02/16 朝日新聞-ウミガメ守ろう！初の共同回復計画へ 日米とメキシコ
 2018/02/21 紀伊民報-保全と利用で議論 神戸で国際ウミガメシンポ
 2018/05/25 沖縄タイムス-[時の人]／国際ウミガメ学会日本初の会長歴任／松沢慶将さん
 2018/09/08 沖縄タイムス-沖縄本島北部で観察会や放流会、専門家の知見を基に開催

(2) 情報の発信・印刷物の発行等

●機関誌「マリンタートラー」の発行

日本ウミガメ協議会の活動を広く周知するために、機関誌「マリンタートラー」第 24 号（12/25）と 25 号（6/1）を発行した。



●ウミガメ速報の配信 計 10 回

ウミガメに関わる個人・団体間での連携と情報の即応性を高めるために、電子メール・ファックスなどを利用し、ウミガメの産卵情報を中心とした情報を不定期に配信した。

(3) インターシップの受け入れ

西元千夏（大阪府立大学）、段奈々子・谷玲花（立命館大学） ほか

(4) 専門学校講義担当

大阪 ECO 海洋動物専門学校にて、週 3 コマ（海洋生態・水族館就職対策）を担当

(5) 種の保存法違反に関する捜査への協力

某保護団体がインターネットオークションでのウミガメ剥製等の取引について一斉告発したことを受けて捜査を余儀なくされた各都道府県から、捜査協力要請を受け、写真による鑑定等を行うとともに、必要に応じて文章での解説等も行った。

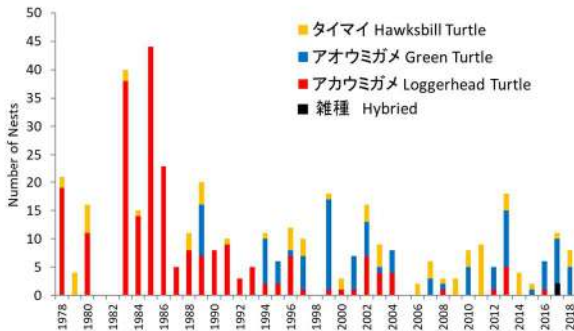
5 付属施設の活動

5-1 黒島研究所の活動

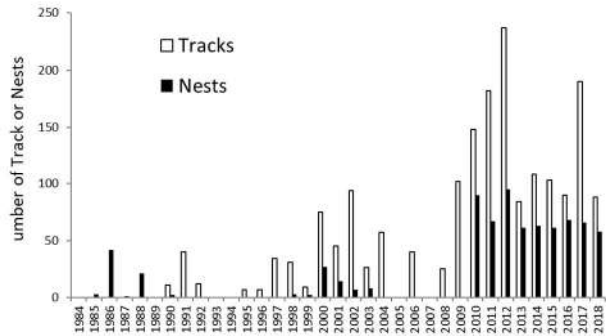
I. 調査・研究活動

●ウミガメ類の上陸産卵調査（主に黒島西の浜、西表島南岸のウブ浜とサザレ浜）

黒島西の浜におけるウミガメ類の産卵調査はほぼ毎日実施された。アオウミガメの上陸 9 回そのうち産卵 5 回、タイマイ上陸 6 回そのうち産卵 3 回が確認された。その他に、研究所の前の浜でタイマイの上陸が 1 回あった。西表島の南岸のウブ浜とサザレ浜で 3 回の調査を実施した。その結果、アオウミガメ上陸 88 回そのうち産卵 58 回であった。なお、イノシシによるウミガメ卵の捕食は 55 巣であった。



西の浜におけるウミガメ類の産卵数の推移



西表南岸におけるアオウミガメの上陸・産卵数

●ウミガメ類の標識放流調査

2017年10月から2018年9月までにアカウミガメ5個体（ヘッドスタートのみ）、アオウミガメ96個体（亀網77、産卵個体1、ヘッドスタート18）、タイマイ5個体（ヘッドスタートのみ）、雑種1個体（ヘッドスタートのみ）の合計107頭を標識放流した。

●助成・委託事業

レモンザメの標識放流調査と啓発活動（イオン環境財団助成）
アオウミガメの嗜好性に関するバイオロギング研究（沖縄美ら島財団助成）
温暖化によるアオウミガメの性比の変化と一般への啓発活動（大成建設助成事業）

●論文・学会発表など

亀田 和成（2018）沖縄島の人工海浜におけるウミガメ産卵状況調査, しまたて 83: 42-47.

Hamabata, T., H. Nishizawa, I. Kawaza, K. Kameda, N. Kamezaki, T. Hikida (2018) Stock composition of green turtles *Chelonia mydas* foraging in the Ryukyu Archipelago differs with size class. *Mar Ecol Prog Ser* 600: 151-163.

Kameda K., M. Wakatsuki, N. Kamezaki (2017) Current Status of Green Turtle in Yaeyama Islands, Ryukyu Archipelago. International Workshop of Sea Turtle Conservation in 2017, in Penghu Taiwan. (Oral presentation)

●本年度に実施、もしくは、次年度に予定しているプロジェクト

レモンザメの標識放流調査（本年度、東京海洋大との共同研究、次年度も継続、修士を受入）
アオウミガメの嗜好性に関するバイオロギング研究（本年度、東京海洋大学との共同研究）
アオウミガメの行動と性格シンドローム研究（本年度、東京海洋大学との共同研究、ポスドクを受入）
八重山諸島の摂餌海域におけるアオウミガメの性比（本年度、酪農学園大との共同研究、論文の査読中）
八重山諸島におけるアオウミガメの心化幼体性比（次年度、三重大と共同研究、卒論を受入）
有害物質が母ガメから子ガメへ引き継がれる過程（次年度、高知大学と共同研究、ポスドクを受入）

II. 利用研究者・学生

2017 年

- 11 月 学生：三重大 1 名、琉球大 1 名
- 12 月 学生：海洋大 3 名、琉球大 1 名、酪農学園大 1 名

2017 年

- 3・4 月 研究者：長崎大 1 名、東大 2 名
学生：琉大 1 名、海洋大 5 名、三重大 2 名
- 5 月 学生：東大 2 名、琉球大 2 名、三重大 2 名、海洋大 1 名
- 6 月 研究者：葛西水 2 名
- 7-9 月 研究者：長崎大 1 名、東大 2 名、江の水 2 名、葛西水 1 名
学生：東大 1 名、海洋大 12 名、琉球大 5 名、三重大 5 名
宮崎大 1 名

利用者合計 43 名（研究者 8 名・学生 35 名）

III. 団体の受け入れ

- 2018 年：1 月 兵庫県立須磨友が丘高校修旅
- 2 月 JTB ツアー
- 3 月 箕面自由が丘学園修旅
- 5 月 平真小遠足、大原小遠足
- 8 月 キッズラボ

この他、クラブツーリズム を随時受付

IV. 新聞掲載・テレビ出演等

2018：8 月 NyAERA（ニャエラ）

V. その他

入館者数 10,633 人（2017 年 10 月～2018 年 9 月）

- ウミガメ勉強会 冬休み、春休み、夏休み、GW の連休時に毎日
- 室戸ウミガメ会議実行委員会・椎名小学校
- マリントートルー、うみがめニュースレター発行

2017 年

- 10 月 JICA イラン人にウミガメ講習
- 10 月 「八重山に国立博物館を作ろう」 講演
- 10 月 台湾のウミガメ国際シンポジウム 口頭発表
- 11 月 沖縄県立博物館 10 周年記念式典 参加
- 11 月 沖縄県博物館協会研修会 参加
- 12 月 社会貢献者表彰式典 受賞

2018 年

- 2 月 沖縄カメ宴会 参加
- 5 月 八重山環境ネットワーク総会 参加
- 7 月 ライオン美らアクション 講義
- 6 月 動物取扱業講習 参加



社会貢献者表彰を受賞



修学旅行でナマコ先生の講義



カメにカメラつけました



サメの調査をスタート



サメのイベントも開催

(若月・亀田・中西)

5-2 むろと廃校水族館および室戸基地の活動

I. 調査・研究活動

ウミガメ類の通常調査（高岡・三津・椎名混獲個体の計測標識放流、漂着個体の計測、上陸痕跡確認）

- ・大敷網 アカウミガメ 79 頭
アオウミガメ 70 頭
クロウミガメ 1 頭
- ・漂着 アカウミガメ 3 頭
アオウミガメ 4 頭
- ・上陸産卵 アカウミガメ 1 頭



ウミガメ測定

II. 利用研究者・学生

2017 年

12月：OAO1 名

2018 年

1-6月：OAO5 名、海洋大 1 名、大阪 ECO1 名、KAP1 名

7-9月：海洋大 2 名、三重大 2 名、琉球大 1 名、高知大 1 名
近畿大 1 名、東海大 1 名、甲南大 1 名、大阪 ECO1 名
長浜高校 1 名、室戸高校 1 名

利用者合計 22 名(学生 22 名)



漁師から展示生物の提供
(研修生対応)

III. 団体の受け入れ

- 学校（遠足・教員研修等）

2018 年

4月 佐喜浜小学校

5月 羽根小学校 2 年生、安田町立安田小学校、南国市立後免野田小学校

6月 東洋町立甲浦小学校、大阪府羽曳野市立誉田中学校、室戸中学校 2 年生、奈半利町立奈半利小学校、
奈半利町立加領郷小学校、室戸岬小学校

7月 馬路村立魚梁瀬小学校、愛媛県大洲市立大洲東中学校、愛媛県大洲市立平野中学校、
愛媛県大洲市立肱東中学校、愛媛県大洲市立新谷中学校、愛媛県大洲市立肱川中学校、
愛媛県大洲市立川辺中学校、吉良川小学校 2 年生、清和女子中学校、吉良川中学校、室戸市教員研修

8月 高知県立安芸中学校 1 年生、高知県理科系教員研修、室戸市内教員研修、室戸市内学校事務職員研修

- 議員視察の受入

2018 年

7月 高知県議会議員視察

滋賀県湖南市長

8月 中谷元衆議院議員

徳島県鳴門市議会議員

熊本県上天草市長

- このほかにも読売旅行や香北観光等、複数の団体が来館



議員視察の対応

IV. 新聞掲載・テレビ出演など

※下線は全国放送または海外、クイズ番組は問題として出題

2018 年：

4月 18 日「26 日オープンむろと廃校水族館」朝日新聞高知版

4月 19 日「廃校水族館 26 日オープン 室戸市旧椎名小」高知新聞

4月 26 日 県内全テレビ局オープン式典放映

4月 27 日「ぐるっと四国」四国 4 県放映 NHK 松山放送局

4月 27 日「廃校水族館開館祝う 室戸」朝日新聞高知版

4月27日「朝日写真ニュース」「廃校舎が水族館に 高知・室戸」朝日新聞
 4月28日「ぐるっと四国」四国4県再放送 NHK松山放送局
 5月2日「声ひろば」「楽しみな廃校水族館 川田瑞穂 72」高知新聞
 5月4日「テレっちのたまご」「おでかけマルシェ」テレビ高知
 5月4日「イブニングKOCHI」「GWのにぎわい」テレビ高知
 5月5日「土佐あちこち」「新たな目覚め」高知新聞
 5月7日「プライム」「室戸市で渋滞？」さんさんテレビ
 5月15日「こうちeye」「廃校水族館その魅力」高知放送
 5月16日「ウミガメを運搬 ヨイショ 奮闘のむろと廃校水族館」朝日新聞高知版
 5月17日「プールをウミガメ、すいすーい 旧小学校を再利用」毎日新聞高知版
 5月19日「声ひろば」「廃校水族館に期待 橋本昭男 76」高知新聞
 5月30日「シブ5時」NHK全国生中継
 5月31日「むろと廃校水族館好調 開館1ヶ月で1.3万人」高知新聞
 6月7日「ステーションらんでぶー」エフエム山陰・岡山・香川・高知
 6月12日「ヨシキリザメ泳いでる!! 日本で唯一飼育」朝日新聞高知版
 6月14日「プールにサメ“廃校水族館”が地域を救う」日テレnews24
 6月14日「プライム」「これぞ室戸の奇跡 廃校水族館人気の秘密」さんさんテレビ
 6月15日「小学校プールをウミガメやサメが泳ぐ」ねとらぼ
 6月18日「こども高知新聞」「楽しいはい校水ぞくかん3年和田珠里記者」高知新聞
 6月19日「ヨシキリザメ プール悠々 国内飼育例少なくSNSで話題に」高知新聞
 6月20日「ごごナマ」「ぐるっと四国 軽四キャンピングカーの旅」全国放送 NHK
 6月21日「あさドレッ！わいど」「ニュース皿鉢料理」高知放送ラジオ
 6月21日「高知を元気に たっすいがは、いかん！」電話出演 高知放送ラジオ
 6月22日「ドデスカ！」名古屋テレビ
 6月22日共同通信社が各紙に記事配信
 6月23日「週間まるわかりニュース」NHK 全国放送
 6月25日「こうち一番」「いま大人気廃校水族館の舞台裏」NHK高知放送局
 6月26日「アイドルもいない廃校水族館、予想外のヒット」産経新聞WEB版
 7月1日「JNNふるさと紀行」「コウチの旅美人ーオトナ女子×南国土佐一」BS TBS
 7月2日「こうちいちばん」「ウミガメに標識 太平洋横断か」NHK高知放送局
 7月4日「ウミガメ太平洋横断 室戸へ」高知新聞
 7月4日「アカウミガメ太平洋横断」朝日新聞高知版
 7月5日「ZIP」「廃校をリニューアル」日本テレビ
 7月6日「廃校水族館 予想外のヒット」産経新聞中四国版
 7月10日「廃校水族館 予想外のヒット」産経新聞関西版
 7月11日「JNNふるさと紀行」「コウチの旅美人ーオトナ女子×南国土佐一」テレビ高知
 7月14日「天才！志村どうぶつ園」日本テレビ
 7月22日「プライム」「3万人突破 夜間学校告知」さんさんテレビ
 7月26日「こうちいちばん」「“水族館部”生徒が廃校水族館へ」NHK高知放送局
 7月27日「特集」「むろと廃校水族館3万人 学校のにぎわい復活」高知新聞
 7月29日「前略、大徳さん」「水族館特集」中京テレビ 東海地区
 7月31日「ニュースZERO」日本テレビ
 8月2日「憂楽帳」「廃校水族館」毎日新聞大阪版夕刊
 8月9日「ミリカ」「涼の中で楽しむおでかけスポット」テレビ朝日 関東ローカル
 8月11日ほか「学校に帰ろう。」テレビ東京 内閣府提供番組
 8月12日「入館者数4万人」読売新聞
 8月12日「入館者数4万人」朝日新聞
 8月12日「入館者数4万人」高知新聞
 8月14日「eye+スーパー」「夏中継・話題沸騰！むろと廃校水族館」県内生中継
 8月14日「プライム」「入館者5万人突破」さんさんテレビ
 8月14日「AERAdot.」朝日新聞出版
 8月15日「あさちゃん」TBS
 8月20日「余禄」毎日新聞
 8月21日「ちちんぷいぷい」毎日放送 生中継 関西等ローカル
 8月25日「還暦オルガン 高知の廃校水族館へ」朝日新聞
 8月28日「プライム」「夜の水族館」さんさんテレビ
 8月30日「プライム」「むろと廃校水族館の夏」さんさんテレビ
 8月号「Blue Earth」「Aquarium Gallery」国立研究開発法人海洋研究開発機構
 9月1日「ニュースキャスター」「ニュースワードランキング」TBS
 9月2日「いま、高知の水族館が面白い」Jタウンネット ネットニュース
 9月11日「WORLD NEWSLINE」「A NEWS LIFE FOR AN OLD SCHOOL」NHK
 9月15日「恋する高知」「Kochi on TV！」高知ケーブルテレビ

9月18日「青鉛筆」「オリジナルのプリのぬいぐるみ」朝日新聞
9月24日「廃校が水族館に変身して大人気！」ダイヤモンドオンライン
9月26日「news every.」「廃校がオシャレに進化で町に活気」日本テレビ
9月27日「ZIP」「廃校がオシャレに進化」日本テレビ

V. その他

入館者数 88,197人
(2018年4月26日～2018年9月30日)

- ウミガメ調査体験
主に小・中学校の対象として実施
- 夜間学校 夏休みに実施
- Twitter 毎日更新



夜間授業

●講演活動

2018年

6月20日シルバーセミナー「室戸の海はこんなに素敵」室戸岬公民館：若月
6月22日「むろと廃校水族館—廃校を利活用—」
こうちミュージアムネットワーク・高知県立坂本竜馬記念館：若月
9月24日安芸郡市連合老人クラブ連合協議会・国立青少年自然の家：若月

(若月・田中・岡崎・覺口)